

放射温度計(ファイバ式) モデル: U 2 L

- ◆ U 2 Lは短い測定波長で測定するため測定対象物の放射率変化や、視路中に存在する水蒸気・炭酸ガスの赤外吸収に依る温度測定への影響が少ない
- ◆ 測温範囲が広い
(300~1100°Cをワンモデルでカバー)
- ◆ 温度計内部でリニアライズ処理
- ◆ フレキシブルライトガイドにより測定対象物へのアクセスが困難な場所での温度測定に最適



概 要

U 2 Lは、幅広い工業用温度測定に使用する目的で開発された放射温度計で、特に鉄鋼業やガラス工業におけるガラスモールド温度測定(測定時間が2.3秒間に制限される、測定物体へのアクセスが制限される)などの中・高温域の温度測定に適しています。

U 2 Lはディテクタにゲルマニウムセルを使用し、短い測定波長(1.6μm)で測定するため、測定対象物表面の放射率変化による測温誤差が小さいこと、また応答時間(5msec.)が早いことが特長です。

鉄鋼業やプロセス産業で、測定対象物の温度が300以上で、しかも物体温度が周囲温度よりも高い条件下での温度測定に使用します。

U 2 Lは、温度計内部に信号処理機能(リニアライズ、ピークピッカまたはアベレージ切替)、放射率/放射率比補正機能を内蔵し、測定温度範囲に対しリニアなアナログ信号(4~20mA)を出力します。

放射温度計は光学システムを持ち、測定物体表面から放射する赤外線エネルギーを温度計のディテクタ上に集光し、ディテクタはこの赤外線エネルギーを電気信号に変換します。この電気信号は放射温度計内でリニアライズ処理され、高レベルのリニア出力が得られます。温度計からのアナログ信号(4~20mA)は直接指示計、記録計、コントローラに接続できます。

U 2 Lは、フレキシブルなライトガイドを使用しているため、ディテクタと電子回路部を安全な場所に設置することができます。ライトガイドを使用することで、通常近づきにくい測定物体(強力な電磁場など)を測定することができ、200までの高温雰囲気下でもオプティックヘッドを冷却する必要がありません。

3種類の焦点距離のオプティックヘッドと3種類の長さのライトガイドを用意しています。

タイプ名

温度計のタイプ名は、次のように構成されています。

タイプ名ラベルは、温度計の背面、アイピース下部に貼り付けてあります。

タイプ名(例) :

U 2 3 0 0 / 1 1 0 0 C - L 3 5 A 5 0



